

受賞評価のポイント

(1) Khalisanni KHALID (37歳、男性、マレーシア)

業績名：「フレキシブルナノ粒子触媒技術を用いたナノ肥料の開発」

<受賞評価のポイント>

受賞者は、フレキシブルナノ粒子触媒技術を用いることにより、従来の肥料のコロイド凝集体の大きさをナノサイズに縮小したナノ肥料に変換し、安価に製造することを可能にした。開発したナノ肥料は、葉面散布肥料の特性を改善し、作物の生産性を向上させ施肥量を節約できる特徴を有する。本技術は既に商品化され普及が進められており、資源の有効活用が求められるなか、将来の発展が期待できる研究が評価された。(191文字)

(2) Avijit GHOSH (30歳、男性、インド)

業績名：「インドの半乾燥半湿潤地域における環境に優しい土壌健康管理戦略の開発と評価」

<受賞評価のポイント>

受賞者は、インドにおける土壌中の有機炭素の分解の温度感受性と熱水感受性を解析するとともに深部土壌の炭素隔離能力を推定し、土壌への炭素貯留に気候変動が与える影響について考察した。また、インドの深刻な大気汚染の原因の一つとされる大量の稲わらの焼却を防止するため、稲わらを天然のケイ素源として利用し、在来の土壌リンの可溶化につなげるなど、農業生産と環境保全の両立に資する取組を行った。広い視野で、現地の農法に基づき持続可能な土地管理を可能とする独創的な研究が評価された。(232文字)

(3) Martin Paul Jr. TABE-OJONG (30歳、男性、カメルーン)

業績名：「アフリカにおける改良作物品種の採用による小規模事業化の改善と貧困削減」

<受賞評価のポイント>

受賞者は、西アフリカにおける既存の穀物中心の農業活動の改善を目標に、蛋白質含量が多く、かつ窒素固定機能による土壌肥沃の可能性を有する耐乾性マメ科品種の導入が、小規模農家の農業生産や食栄養改善はもとより、商品化を通じた営農活動の改善が可能なことを明らかにした。西アフリカの小規模農家における農業イノベーションのためのモデルを提供した開発経済学的研究が評価された。(180文字)